

東京大学経済学図書館所蔵資料のデジタルデータについて

- (1) この画像データは、東京大学経済学図書館が所蔵する資料のうち、有価証券報告書をデジタル撮影したものです。
- (2) 利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化により、一部、文字の写りが悪いものを含んでいます。また、一部、オンライン公開に適さないと判断し、墨消処理した部分があります。
- (5) この画像データに関する質問等は東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。

有価証券報告書

事業年度
(第43期) 自昭和36年10月1日
至昭和37年3月31日

大蔵大臣殿



昭和37年6月29日提出

会社名 国策バルプ工業株式会社

英訳名 The Kokusaku Pulp Industry Co., Ltd.

代表者の役職氏名 取締役社長 加藤英夫㊞

本社の所在の場所 東京都千代田区有楽町1丁目8番地の1

東京591局大代表0121(16)

連絡者 吉田正

もよりの連絡場所 同上

公認会計士の監査証明

氏名 津屋幸右衛門

監査証明に関する事項

証券取引法第193条の2により正規の監査を受け、その結果は別紙添付の監査報告書の通りである。

有価証券報告書の写を縦覧に供すべき支店及び証券取引所

名 称	所 在 地
大阪支店	大阪市西区江戸堀1丁目22番地
札幌支店	札幌市北四条西4丁目1番地(日興ビル内)
東京証券取引所	東京都中央区日本橋兜町1丁目6番地
大阪証券取引所	大阪市東区北浜2丁目1番地
名古屋証券取引所	名古屋市中区南伊勢町1丁目3番地
神戸証券取引所	神戸市生田区播磨町49番地
福岡証券取引所	福岡市天神町55番地
広島証券取引所	広島市下柳町23番地
新潟証券取引所	新潟市上大川前通十番町1915番地
札幌証券取引所	札幌市南二条西四丁目12番地

有価証券報告書について

- 1 ここに収録されているものは、証券取引法第24条の規定によつて有価証券の発行会社から事業年度ごとに大蔵大臣に提出され、同法第25条の規定によつて大蔵省に備えおかれ、公衆の縦覧に供される報告書(有価証券報告書)の内容であります。
- 2 報告書を公衆の縦覧に供する目的は、企業の安全性や収益性など、企業全体についての評価を正しく行なうための資料を提供し、もつて公衆の利益を擁護し、健全な投資者を保護するにあります。
- 3 報告書を正しく活用するには、多くの事項を関連せしめて総合的に観察し、また、相当長期にわたる企業の趨勢を理解することが重要であります。
- 4 報告書の記載事項については、一定の様式や記載方法が定められているものが多く、特に財務諸表については、企業会計原則を規範として制定された「財務諸表規則」によつて、かなり細部の表示方法が規制されています。

これによつて表示の比較性が失われないように留意されていますが、性質上すべての事項について統一ある処理がなされているとはいえないで、注意を要します。

- 5 報告書の本文は、第1「会社の概況」、第2「事業の内容と設備の状況」、第3「営業の状況」、第4「経理の状況」、の順序で記載されています。

- 6 報告書の勘定科目や数字が会社の営業報告書に記載されているものと異なる場合がありますが、これは「財務諸表規則」によつて勘定科目などに組替えが行なわれているためです。

特に、当期純損益の額と繰越利益剰余金の額が、営業報告書におけるものと相異する場合が多いと思われますが、これは、損益計算書について、いわゆる当期業績主義による表示方法が採られているためです。

当期業績主義とは、例えば、過去の事業年度にすでに売上として計上したものについて発生した値引額等について、損益計算書の損益項目として計上しないで、繰越利益剰余金の減少高として計上する方法です。

財務諸表中の剰余金計算書は、このような計算の過程を表示するためのものですから、この書類では、剰余金計算書の記載事項についても注意を要します。

以上のような特殊な事項や営業報告書等の記載との相違などについて注意すべき点は、しばしば、財務諸表の脚注事項として説明が付されていますので、財務諸表の観察に当つては、脚注事項についても注意を要します。

- 7 銀行、信託会社、保険会社等の限られた業種を除いて、資本金1億円以上の会社の財務諸表には、上記2.の目的を一層充実させるために、すべて公認会計士の監査報告書が付されておりますので、この監査報告書を財務諸表と参照して有効に利用されることが必要です。
- 8 監査報告書は、有価証券報告書の末尾に添付されておりますが、本書においては、読者の便宜を計り、第4「経理の状況」の冒頭に挿入しております。

第1会社の概況

(1) 会社の設立年月日 昭和13年6月10日

(2) 会社の目的

(イ) パルプ、紙及びその副産物の製造並びに売買の事業

(ロ) 前号に関連する一切の事業

(3) 資本の額 2,251,746,000円

(4) 株式

発行予定株式総数 72,000,000株 発行済株式総数 45,034,920株

発行済株式

記名、無記名の別、及び額面、無額面の別	種類	発行数	券面額	上場証券取引所名	摘要
記名式	普通株	45,034,920株	50円	東京、大阪、名古屋、神戸、福岡、広島、新潟、札幌	
計		45,034,920株			

(5) 株式の状況

所有者別及び所有数別状況

平均1人当持株数 2,498株

所有者別

(昭和37年3月31日現在)

区分	政府及び 公共団体	金融機関	証券業者	その他の人 法	個人	その他	外国人	合計
株主数(イ)	人 — 株	人 53 株	人 112 株	人 79 株	人 17,733 株	人 15 株	人 38 株	人 18,030 株
株式数(ロ)	— % — %	13,351,664 0.3 — %	907,854 0.6 — %	10,461,500 0.4 — %	20,070,658 98.4 — %	170,553 0.1 — %	72,691 0.2 — %	45,034,920 100 — %
総株主数に対する (イ)の割合	— %	— %	— %	— %	— %	— %	— %	— %
総株式数に対する (ロ)の割合	— %	29.6	— %	2.0	— %	23.2	— %	44.6 0.4 — %

所有数別

区分	100,000株以上	50,000株以上	10,000株以上	5,000株以上	1,000株以上			
株主数(イ)	人 54 株	人 18 株	人 134 株	人 257 株	人 9,175 株			
株式数(ロ)	— % — %	23,786,193 0.3 — %	1,205,175 0.1 — %	2,227,170 0.8 — %	1,517,372 1.4 — %			
総株主数に対する (イ)の割合	— %	— %	— %	— %	— %			
総株式数に対する (ロ)の割合	— %	52.8	— %	2.7	— %	4.9	— %	3.4 28.9

区分	500株以上	100株以上	100株未満	合計
株主数(イ)	人 4,419 株	人 2,399 株	人 1,574 株	人 18,030 株
株式数(ロ)	— % — %	2,649,628 24.5 — %	588,298 13.3 — %	55,502 8.7 — %
総株主数に対する (イ)の割合	— %	— %	— %	— %
総株式数に対する (ロ)の割合	— %	5.9	— %	1.3 0.1

地域的分布状況

都道府県	株主数	総株主に に対する割 合	株式数	発行済株式数 に対する割合	都道府県	株主数	総株主に に対する割 合	株式数	発行済株式数 に対する割合
北海道	人 2,055	% 11.40	株 3,131,980	% 6.95	山形	人 47	% 0.26	株 82,196	% 0.18
青森	52	0.29	98,520	0.22	福島	120	0.66	119,075	0.27
岩手	46	0.25	82,077	0.18	茨城	213	1.18	503,006	1.12
宮城	132	0.73	149,911	0.33	栃木	212	1.17	287,085	0.64
秋田	43	0.24	33,643	0.08	群馬	208	1.15	247,567	0.55

都道府県	株主数	総株主に対する割合	株式数	発行済株式数に対する割合	都道府県	株主数	総株主に対する割合	株式数	発行済株式数に対する割合
埼玉	499	2.77%	390,219	0.87%	三重	268	1.49%	359,619	0.80%
千葉	404	2.24%	381,442	0.85%	鳥取	30	0.17%	32,386	0.07%
東京	4,745	26.32%	23,863,722	52.99%	島根	33	0.18%	32,641	0.07%
神奈川	990	5.49%	1,001,311	2.22%	岡山	268	1.49%	205,188	0.46%
新潟	249	1.38%	249,734	0.55%	広島	366	2.03%	322,062	0.72%
富山	180	1.00%	346,105	0.77%	山口	176	0.98%	245,502	0.54%
石川	135	0.75%	181,048	0.40%	徳島	261	1.45%	203,602	0.45%
福井	81	0.45%	64,081	0.14%	香川	151	0.84%	116,881	0.26%
山梨	83	0.46%	129,436	0.29%	愛媛	187	1.04%	374,327	0.83%
長野	352	1.95%	329,673	0.74%	高知	111	0.61%	130,203	0.29%
岐阜	219	1.21%	308,185	0.68%	福岡	362	2.01%	470,131	1.04%
静岡	536	2.97%	678,442	1.51%	佐賀	61	0.34%	36,717	0.08%
愛知	932	5.17%	1,180,504	2.62%	長崎	51	0.28%	30,533	0.07%
滋賀	87	0.48%	91,032	0.20%	熊本	66	0.37%	69,657	0.15%
京都	440	2.44%	1,044,191	2.32%	大分	37	0.20%	30,494	0.07%
大阪	1,330	7.38%	6,695,055	14.87%	宮崎	25	0.14%	42,853	0.10%
兵庫	789	4.38%	295,655	0.66%	鹿児島	49	0.27%	37,776	0.08%
奈良	135	0.75%	83,750	0.18%	海外	38	0.21%	72,691	0.16%
和歌山	176	0.98%	173,012	0.38%	総計	18,030	100%	45,034,920	100%

注 海外所有者は
 アメリカ 32名 56,983株
 リヒテンシュタイン 1名 5,170株
 ブラジル 1名 500株
 ホンコン 1名 8,038株
 沖縄 3名 2,000株

大株主

氏名又は名称	住所	所有株式の額面、無額面の別、種類及び数	発行済株式総数に対する所有株式数の割合
(株)朝日新聞社	東京都	額面 株 普通株	2,364,159 5.3%
日本証券金融(株)	タ	タ	1,737,133 3.9%
三菱信託銀行(株)	タ	タ	1,233,500 2.7%
富国生命保険(相互)	タ	タ	1,219,484 2.7%
大日本紡績(株)	大阪市	タ	1,181,800 2.6%
(株)日本興業銀行	東京都	タ	1,163,297 2.6%
(株)富士銀行	タ	タ	1,125,679 2.5%
東洋紡績(株)	大阪市	タ	1,000,000 2.2%
計			11,025,052 24.5%

備考

[定款規定の新株式引受権の内容] 該当事項なし
 [決算期] 3月31日, 9月30日
 [定時株主総会] 5月中, 11月中
 [株主名簿定時閉鎖の始期] 4月1日, 10月1日
 [株主名簿定時閉鎖の期間] 定時株主総会終了の日までの2月以内
 [株券の種類] 1株券, 10株券, 50株券, 100株券, 500株券, 1,000株券、「但し100株未満の株式については当該株数を表示した株券を発行することが

できる」
 [株券に関する手数料] 名義書替0円, 新券交付20円
 [株式名義書換] 取扱所 東京都千代田区有楽町1の8の1国策パルプ工業株式会社総務部株式課, 取次所 大阪市西区江戸堀1の22, 大阪支店
 [株主に対する特典] なし
 [公告掲載新聞名] 日本経済新聞, 産経新聞

[今事業年度中における月別最高最低株価(東京証券取引所)]

銘柄	36 / 10月	11月	12月	37 / 1月	2月	3月
国策パルプ工業株式会社株式	最高 最低	110円 73	95円 72	78円 60	77円 65	81円 64

[最近3事業年度の配当額]

回 次	決算年月	1 株の配当額	回 次	決算年月	1 株の配当額	回 次	決算年月	1 株の配当額
第41期	36年3月	2円	第42期	36年9月	2円	第43期	37年3月	1円50銭

(6) 役員の略歴及び所有株式

役名及 び職名	氏 名 (生年月日及び住所)	略 歴	所有株式の額面、無額 面の別、種類及び数 株
取締役会長	水野 成夫 (明治32年11月13日生) [REDACTED]	大正13年3月東京大学法学部卒、昭和15年5月大日本再生製紙(株)常務取締役、同20年4月当社常務取締役(合併により)、同23年5月当社専務取締役、同24年9月当社取締役副社長、同26年5月北海道電力(株)監査役、同31年2月(株)文化放送取締役社長、同年11月当社取締役社長、同32年11月(株)フジテレビジョン取締役社長、同33年10月(株)産業経済新聞社取締役社長、同35年11月当社取締役会長、同36年6月(株)日本工業新聞社取締役	額面普通株式 222,500
取締役社長	加藤 英夫 (明治33年4月16日生) [REDACTED]	大正13年3月東京大学経済学部卒、昭和19年4月安田銀行本店営業部副長、同年8月当社経理部長、同20年4月当社取締役、同23年5月当社常務取締役、同24年9月当社専務取締役、同32年12月当社取締役副社長、同34年1月三島製紙(株)取締役社長、同35年11月アラスカパルプ(株)取締役、当社取締役社長、同36年5月市川毛織(株)監査役	108,900
取締役副会長	南喜一 (明治26年2月19日生) [REDACTED]	大正6年3月早稲田大学卒、昭和15年5月大日本再生製紙(株)専務取締役、同20年4月当社取締役(合併により)、同24年2月当社常務取締役、同29年11月当社専務取締役、同32年2月日本紙業(株)取締役会長、同33年11月高崎製紙(株)取締役、同34年5月当社取締役副社長、同35年11月当社取締役副会長	51,400
専務取締役	米田一男 (明治39年7月10日生) [REDACTED]	昭和6年3月京都大学法学部卒、同21年8月当社旭川工場事務部長、同26年7月当社業務部長、同27年11月当社取締役、同31年5月当社旭川工場長、同年11月当社常務取締役、同34年5月当社専務取締役、同年10月千代田紙業(株)取締役、同35年5月富士製袋(株)取締役	40,000
専務取締役	後藤基光 (明治41年4月6日生) [REDACTED]	昭和7年3月東京大学法学部卒、同24年3月当社旭川工場事務部長、同26年7月当社経理部長、同31年11月当社取締役、同32年3月当社勇払工場長、同年12月当社常務取締役、同34年5月当社専務取締役、同年8月日比谷商事(株)取締役、同36年11月北海道曹達(株)取締役	23,000
常務取締役 (旭川工場) 長	村上勝義 (明治38年1月8日生) [REDACTED]	大正14年3月東京高等工業学校卒、昭和24年4月当社勇払工場工務部長、同29年10月当社勇払工場長、同32年3月当社工務部長、同年5月当社取締役、同年11月旭川工場長、常務取締役、同35年10月北海道林業(株)取締役	12,300
常務取締役	藤本智 (明治37年1月30日生) [REDACTED]	昭和26年6月当社旭川工場技術部副部長、同29年11月当社旭川工場長代理、同31年11月当社取締役、同33年2月当社旭川工場次長兼木材管理部長、同年7月国策木材(株)取締役社長、同34年5月当社常務取締役	11,575

役名及 職名	氏 (生年月日及び住所)	略 歴	所有株式の額面、無額 面の別、種類及び数
取締役 小瀧武夫 (明治38年2月11日生)	[REDACTED]	昭和6年3月京都大学農学部卒、同15年10月東京営林局長野営林署長、同22年6月経済安定本部生産局林産課長、同23年11月北海道林務部長、同27年7月当社木材部長、同31年11月当社取締役、同33年3月北海道林業(株)取締役社長、同34年3月北海道木材化学(株)専務取締役	額面普通株式 株 7,300
取締役 多門登 (明治38年2月10日生)	[REDACTED]	昭和2年3月東亜同文書院卒、同29年5月当社旭川工場事務部長、同32年9月当社総務部長、同35年11月当社取締役	△ 13,000
取締役 津田芳太郎 (明治42年8月1日生)	[REDACTED]	昭和7年3月東京商科大学卒、同31年5月当社管理部長、同32年3月当社経理部長、同33年11月当社調査部長兼務、同35年11月当社取締役	△ 13,000
取締役 (勇払工場) 長 山根元雄 (明治43年1月1日生)	[REDACTED]	昭和9年3月東京大学農学部卒、同32年9月当社勇払工場工務部長、同33年11月当社勇払工場長代理兼工務部長、同34年5月当社勇払工場長兼工務部長、同35年11月当社取締役、勇払工場長	△ 5,000
取締役 成吉競 (明治33年3月14日生)	[REDACTED]	大正15年3月東京大学法学部卒、同年3月日清紡績(株)入社、昭和20年12月日清紡績(株)常務取締役、同31年11月当社監査役、同33年11月日本無線(株)取締役副社長、同34年11月当社取締役、同36年10月新日本無線取締役社長	△ 2,800
取締役 横田武夫 (明治37年4月8日生)	[REDACTED]	昭和4年3月東京大学法学部卒、同年4月朝日新聞社入社東京本社業務局、同27年5月同社東京本社経理部長兼会計部長、同年8月同社東京本社業務局次長、同28年12月経理総務、取締役に選任、経理総務兼務、同35年11月当社取締役	△ 1,000
監査役 影佐拙郎 (明治29年12月10日生)	[REDACTED]	大正11年3月京都大学工学部卒、昭和20年2月王子製紙(株)科学研究所副部長、同21年11月当社旭川工場長、同23年5月当社取締役、同31年11月当社常務取締役、同33年11月当社監査役	△ 13,000
監査役 佐分利一武 (明治32年6月8日生)	[REDACTED]	大正13年3月東京大学経済学部卒、昭和21年3月(株)日本興業銀行理事、同22年8月帝都高速度交通営団理事、同26年3月(株)日本興業銀行取締役副頭取、同29年11月当社監査役、同31年6月帝都高速度交通営団監事、同33年2月静岡ガス(株)取締役	△ 1,700
監査役 三谷道麿 (明治37年4月26日生)	[REDACTED]	昭和4年3月京都大学経済学部卒、同24年3月当社札幌支店長、同26年7月当社総務部長兼大阪支店長、同29年11月当社取締役、同30年2月当社勤労部長兼務、同32年12月当社常務取締役、同34年11月当社監査役	△ 30,000
計	16名		△ 556,475

(7) 従業員の状況

昭和37年3月31日現在の従業員の状況

	人 員	平 均 年 令	平均勤続年数	平均給与月額
男 子	人 2,240	年 37.1	年 12.2	円 38,225
女 子	人 501	年 23.5	年 4.0	円 15,200
計	人 2,741	年 34.7	年 10.8	円 34,017

- 注 1 職員、工員の区分なし。
2 臨時、日雇、非常勤嘱託は含まず。

- 3 休職者は含まず。
- 4 平均給与月額は基準外賃金を含む。

労 働 組 合

当社の従業員の大部分を構成員とする「国策パルプ労働組合」は、昭和28年10月1日連合会組織から単一組織となり、現在組合員は約2,600名である。本部を旭川に、支部を旭川、勇払及び東京に置き、上部団体としては総評傘下の「全国紙パルプ産業労働組合連合会(紙パ労連)」に加盟している。

当社は、昭和35年4月28日、労働組合との間に、「平和維持に関する協定(いわゆる平和協定)」を締結し、労使の理解と信頼を深めてきたが、本年この有効期間満了を機会に、昭和37年4月28日、さらに2カ年間の新協定を締結した。

この協定は従来のものを踏襲したもので、昭和39年4月までの従業員の賃金、賞与、身分保障と、労使の平和維持の義務をとりきめており、企業内の平和と従業員の会社に対する協力が約束されることになった。

第 2 事業の内容と設備の状況

(1) 事業の内容

イ パルプ、紙及びその副産物の製造並びに売買

人絹、スフ、セロハン等に使用される溶解用及び製紙用に使用される未晒サルファイトパルプ、晒サルファイトパルプと製紙用晒クラフトパルプ、セメント袋その他包装用に用いられるクラフト紙及び板紙並びに上質紙、新聞用紙の製造販売を主たる事業の内容としており、副産物としてはパルプ廃液より工業用アルコールを製造し、さらにその蒸溜残渣からリグニンスルフォン酸塩(分散剤)を製造している。

ロ 前号に関連する一切の事業

上記パルプの主原料である原木を自給するための造林事業及び紙パルプの製造に必要な電力確保のための自家火力発電を行つてゐる。

昭和36年下期(36/10~37/3)製品別ウエイト(金額及び百分比)

(単位 千円)

上質紙 (勇払)	上質紙 (旭川)	クラフト 紙	新聞用紙	板 紙	パルプ	アルコー ル	その他 化成品	計
1,115,799 %	1,142,424 %	1,421,126 %	735,876 %	129,139 %	2,181,113 %	73,935 %	82,728 %	6,882,140 %
16.2	16.6	20.6	10.7	1.9	31.7	1.1	1.2	100

注 生産金額は販売価格により算出した。

(2) 設備の状況

イ 事業所別設備

(単位 千円)

区分	取扱業務又は主要製品	従業員数	土地		建物		機械装置	構築物 車輌運搬具その他	計
			坪 数	金額	坪 数	金額			
本社	会社経営に関する一般業務	208	7,205	67,796	4,052	176,007	—	21,023	264,826
札幌支店	本社工場間の連絡その他業務の補助代行	16	598	1,025	334	2,535	—	891	4,451
大阪支店	本社業務の補助代行	12	295	3,657	155	6,517	—	683	10,857
旭川工場	パルプ・紙及びアルコールの製造	1,717	426,233	89,929	62,375	1,588,259	6,838,336	599,448	9,115,972
勇払工場	パルプ及び洋紙の製造	736	731,870	744	27,909	561,247	1,200,610	110,616	1,873,217
中央研究所	紙パルプに関する研究木材に関する研究、その他	65	1,441	6,890	923	55,387	57,985	25,160	145,422
計		2,754	1,167,642	170,041	95,748	2,389,952	8,096,931	757,821	11,414,745

注 金額は帳簿価額によつており、有形固定資産中、林地、植林立木及び建設仮勘定を除いてある。

ロ 主要機械装置

区分	名称	台数	稼動未稼動の別	摘要	要
旭川工場 (サルファイト) (パルプ工場)				性能は1台又は1基当りの能力を示す	
皮剥室 調木室	バーキングドラム チッパー	3台 4台	稼動 △	皮剥用 5m×12m処理能力27.8M ³ /回 回転デスク { 1台97.3M ³ /H 1台8.34M ³ /H 式、性能 { 2台41.7M ³ /H	
製薬室	硫黄燃焼器 製薬塔	3台 4基	△ △	回転式水平筒炉 性能 1t/H バーグルトン式 性能1500m ³ /日	
蒸解室 スクリーン室	蒸解用木釜 ヤンソンスクリーン他	4基 △	△ △	直立同筒型間接蒸煮式 容量350m ³ ヤンソンスクリーン 8台 リンドブロットスクリーン14台 アルホーススクリーン5台 サクションフィルター 8台 アチスフィルター 3台	

区分	名称	台数	稼動未稼動の別	摘要	要
晒造室 (板紙工場)	高濃度連続晒装置 パルプマシン	1式 1台	稼動 △	カミヤ式 長網式4.34m	
処理調整室	ビーター ヤンソングクリーン他	4台	△ △	フォイト型 容量8,000l ヤンソングクリーン2台 ジョルダンエンジン2台 ハウグリファイナー1台	
抄紙室 (クラフト紙工) 場	板紙マシン	1台	△	丸網ヤンキー式2.01m	
蒸解室	蒸解用木釜	5基	△	直立円筒型間接蒸煮式 容量70m ³	
洗滌室	洗滌フィルター	3基	△	3,250φ×3,400 レグレス型	
回収室	トムリンソンボイラー	1基	△	ハイドラン式蒸気発生16t/H	
スクリーン室	ヤンソングクリーン他		△	ヤンソングクリーン4台、アップミュースクリーン6台、サクションフィルター3台、ワコーフィルター1台	
調成整	ビーター リファイナー他	2台	△ △	フォイト型 容量8,000l ハイナドラファイナー3台、コーンリファイナー21台、デスクリファイナー1台 SWリニアーナー1台、ジョルダン3台、デラックス・イファイナー4台、ファイバーマスター1台、ブローカージョルダン1台	
抄紙室 (晒クラフトパ) ルプ及上質紙	ペーパーマシン	3台	△	長網式3.40m 2台 2.49m 1台	
蒸解室	連続蒸解装置	1基	△	連続式150m ³	
スクリーン室	洗滌装置	2基	△	カミヤM57型	
晒室	サクションフィルター	3基	△	2,250mmφ×3,500mm	
回収室	二酸化塩素晒設備	1式	△		
製薬室	真空蒸発缶	6基	△	パルプ200T/D 6缶 重効用	
調整室	トムリンソンボイラー	1基	△	ハイドラン式 蒸気発生41t/M	
抄紙室	連続苛性化設備	1式	△	ドル式280T/D KP用	
新聞用紙 グラインダー室	ロータリーキルン	1式	△	生石灰焼成85T/D 2,500mmφ×45,000mm	
スクリーン室	リファイナー	22台	△	ファイバーマスター型14台、デラックスファイナー8台	
抄紙室	ペーパーマシン	2台	△	長網式3.70m	
新規用紙 スクリーン室	パルプマシン	1台	△	△ 4.34m	
抄紙室 (アルコール工) 場	チエングラインダー	5台	△	フォイト VET 能力30T/D	
(アスパーズ工) 場	シックナー他		△	コーワンスクリーン7台、セントリクリナー1式、シックナー7台	
(K.C. フロッ) (ク工場)	リファイナー他		△	Bauer #400型2台 ブローカージョルダン2台	
(動力関係)	ペーパーマシン	1台	△	長網式6.96 m	
汽缶室	アルコール製造設備	1式	△	中和槽、醸酵槽 蒸溜設備300Kl/月	
	リグニンスルфон酸 塩製造設備	1式	△	スプレードライヤー、エバポレーター、反応槽他250t/月	
	繊維素粉末製造設備	1式	△	ドライヤー、フィルター、反応槽他58t/月	
	ボイラー	5基	△	タクマ式LS100号型圧力23kg/cm ² 4基30t/H 1基28t/H	
		1基	△	日立ヤローSF2型圧力22kg/cm ² 18.5t/H	
		1基	△	CEボイラー圧力24kg/cm ² 40t/H	

区分	名称	台数	稼動未稼動の別	摘要	要
汽 缶 室	ボイラー	1基	稼動	日立サイクロンファーネス100kg/cm ² 100T/H	
タービン室	微粉炭燃焼装置	7基	タ	チューブミル3基, レイモンドミル3基	
	抽気タービン	1基	タ	出力 每時 4,500KW	
	タ	1基	タ	タ 3,000KW	
	背圧タービン	1基	タ	タ 3,000KW	
	タ	1基	タ	タ 17,000KW	
勇 払 工 場					
調木室	チッパー	1基	稼動	回転デスク式 性能27.8m ³	
蒸解室	蒸解用木釜	2基	タ	直立円筒型間接蒸煮式67m ³	
製薬回収室	トムリンソンボイラ	1基	タ	2胴型12.7t/H	
晒整室	二酸化塩素晒設備	1式	タ		
晒整室	ビーター	4台	タ	5屯	
タ	ジョルダンエンジン	3台	タ		
タ	ハイスピードジョルダン	2台	タ		
タ	ファイバーマスター	10台	タ		
抄紙室	ペーパーマシン	3台	タ	長網式2.49m, 2.84m, 1.83m	
動力関係	ボイラー	3基	タ	タクマ式FLS800型, 圧力30kg/cm ² 2基18t/H, 1基25t/H	
タ	バーカボイラー	1基	タ	タクマ式L400型	
タ	抽気タービン	1基	タ	出力 每時 1,000KW	
タ	背圧タービン	1基	タ	タ 1,000KW	
木材関係	アンダーソンデバーカー	1基	タ	性能16.68m ³ /H	

ハ 設備の新設、拡充若しくは改修又はそれらの計画

(イ) 当期中において完成した主な工事

旭川新聞紙工場新設工事は C.G.P 設備工事を除いて概ね完成を見、期央から操業を開始している
が C.G.P 工事其の他未完成のため建設中の工事として別項(ロ)に記載した。

(ロ) 当期中において建設中の主な工事

事業所別	件 名	部 門 別	予算金額	37/3現在		完成予定期
				千円	千円	
旭川工場	新聞用紙工場新設工事		4,498,311	1,680,203	昭和37年9月	
	幹線流木構延長	貯木場	53,414			
	スラッシュヤーコンベアー他	調木	42,517			
	チエーニングラインダー他	グラインダー	608,053			
	G.P. シックナー他	ニューススク	441,706			
	リファイナー他	クリーン	31,750			
	抄紙機他	抄紙	2,159,737			
	損紙パルバー他	仕上荷造	92,914			
	倉庫3棟他	製品倉庫	28,772			
	送電線、給電線、受配電設備	受配電設備	74,835			
	トランスポーター他	汽缶設備	81,395			
	ロールグラインダー他	雜設備	165,951			
	沈澱池、送水管他	給排水設備	189,683			
	石炭貨車卸線増強	倉庫	18,485			
	M&D ダイジエスター他	C.G.P 設備	509,099			
小松島工場	板紙工場新設工事		6,853,000	757,315		

事業所別	件名	部門別	予算金額	37/3現在		完成予定期
				千円	千円	
埼玉工場	ポリスチレンペーパー工場新設工事		250,000	50,436	昭和37年9月	

第3 営業の状況

(1) 生産能力

品種	生産能力(年)		能力算出基礎			
	36. 9. 30 現在	37. 3. 31 現在	日産	操業日数	出力	基礎
旭川工場						
上質紙	38,000屯	40,000屯	120屯	340日		
クラフト紙	46,000 ^シ	48,000 ^シ	140 ^シ			
新聞用紙	—	91,000 ^シ	270 ^シ			
板紙	7,000 ^シ	7,000 ^シ	20 ^シ			
パルプ	70,000 ^シ	75,000 ^シ	220 ^シ			
アルコール	3,500kl	3,500kl	10kl			
アスパーズ	3,000屯	3,000屯	9屯			
K.C. フロック	700 ^シ	700 ^シ	2 ^シ			
勇払工場						
上質紙	27,000屯	23,000屯	70屯	340日		
加工紙	—	5,400 ^シ	15 ^シ			

(2) 生産実績

イ 生産の概況

パルプの生産量は、前期とほとんど変わらなかつたが、上質紙は市況悪化のため昨年11月から一部操短を行なつたので、相当の減産となつた。

しかし、期中から高級加工紙及び新聞用紙工場が操業を開始したので、洋紙全般を通ずる生産数量は増加した。

その他アスパーズは、需要が旺盛で、大幅な増産となつた。

ロ 生産実績

(単位 千円)

期別	品種	紙				
		上質紙(勇払)	上質紙(旭川)	クラフト紙	新聞用紙	板紙
前数	量	13,350	19,193	20,945	—	3,493
金額	額	1,128,209	1,516,247	1,446,252	—	129,206
前期	月平均	屯	屯	屯	屯	屯
数	量	2,225	3,199	3,491	—	582
金額	額	188,035	252,708	241,042	—	21,534
操業率				99%		
当数	量	13,188	13,705	21,342	13,754	3,551
金額	額	1,115,799	1,142,424	1,421,126	735,876	129,139
当期	月平均	屯	屯	屯	屯	屯
数	量	2,198	2,284	3,557	2,292	592
金額	額	185,967	190,404	236,854	122,646	21,522
操業率				78%		

期別	品種	パルプ	化成製品		計
			アルコール	その他	
前期	期(第42期)		屯	升	
数量			38,398	1,813	
金額			2,263,824	114,780	30,738
前月平均					6,629,256
数量		屯	6,400	302	
金額			377,304	19,130	5,123
操業率			110%	104%	1,104,876
当期	期(第43期)		屯	升	
数量			38,250	1,232	
金額			2,181,113	73,935	82,728
当月平均					6,882,140
数量		屯	6,375	205	
金額			363,519	12,323	13,788
操業率			102%	70%	1,147,023

注 1 生産金額は、販売価格により算出した。

2 操業率は生産能力を基準とした。なお当期中において、旭川工場新聞用紙工場新設工事が一部稼動したので、新聞用紙については、1~3月91,000屯(年産公称能力)として計算してある。

ハ 原材料の状況

(イ) 主要原材料の当期受入及び消費状況

種類	単位	期首残高	受入高	消費高	期末残高
原木	立方米	206,278	394,405	439,351	161,332
硫黄	屯	760	3,306	3,509	557
液体塩素	タ	25	3,028	3,013	40
液状苛性ソーダ	タ	60	2,681	2,726	15
石灰石	タ	2,853	15,832	15,057	3,628
芒硝	石炭	847	3,558	3,592	813
石炭	タ	13,860	167,010	165,140	15,730

(ロ) 主要原材料価格の動向

種類	単位	35/10~36/3	36/4~36/9	36/10~37/3	備考
原木(松丸太)	立方米	円 4,600	円 4,680	円 4,990	
硫黄	屯	20,160	19,020	18,850	
液体塩素	タ	24,780	25,180	25,660	
液状苛性ソーダ	タ	28,140	25,200	25,030	
石灰石	タ	1,340	1,290	1,510	
芒硝	石炭	14,570	13,920	14,630	
石炭	タ	2,740	2,560	2,660	

(3) 受注状況と生産計画

イ 受注の状況

当社は見込生産を行なつてるので、受注の状況に関する記載はない。

ロ 主要製品次期生産計画(自昭和37年4月1日) (至昭和37年9月30日)

品種	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
上質紙(勇払) (旭川)	屯 タ	2,206 1,925	2,040 2,085	2,208 1,930	2,359 2,275	2,258 2,395	2,348 2,325	13,419 12,935

品種	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
クラフト紙	屯	3,536	3,315	3,417	3,417	3,417	3,398	20,500
新聞用紙	シ	4,785	4,620	4,620	4,785	5,115	4,620	28,545
板紙	シ	585	405	570	585	585	570	3,300
パルプ	シ	6,150	5,273	5,640	5,857	5,926	5,480	34,326
アルコール	升	180	152	148	156	161	146	943

(4) 販売状況

イ 販売方法

当社製品の紙及びパルプは、全部代理店を通じ、夫々の需要者に販売している。

アルコールは専売品であるため、政府買上げとなつてている。

ロ 当期における販売実績

(単位 千円)

	旭川工場							勇払工場	計
	クラフト紙	上質紙	板紙	溶解パルプ	製パルプ	アルコール	その他化成品		
	屯	屯	屯	屯	屯	屯	屯	屯	屯
前期(第42期)									
数量	(11) 13,113	(8) 17,595	(422) 20,660	—	(1,179) 3,443	(9) 38,485	1,789		
金額	(727) 1,108,186	(646) 1,390,089	(24,503) 1,426,559	—	(32,983) 127,373	(422) 2,254,415	107,358	(84) 30,132	(59,365) 6,444,112
前期月平均									
数量	2,186	2,932	3,443	—	574	6,414	298		
金額	184,698	231,681	237,760	—	21,229	375,736	17,893	5,022	1,074,019
当期(第43期)									
数量	(63) 12,376	(19) 15,557	(283) 19,108	(19) 7,625	(1,307) 3,407	(9) 37,214	1,256		
金額	(5,031) 1,044,404	(1,141) 1,296,772	(18,370) 1,272,439	(668) 407,966	(34,039) 123,921	(408) 2,131,269	75,390	(87) 67,191	(59,744) 6,419,352
当期月平均									
数量	2,062	2,593	3,185	1,271	568	6,202	209		
金額	174,067	216,129	212,073	67,994	20,654	355,212	12,565	11,198	1,069,892
対前期比率	%	%	%	%	%	%	%	%	%
数量	94.4	88.4	92.5	—	99.0	96.7	70.2	—	—
金額	94.2	93.2	89.2	—	97.3	94.5	69.6	223.0	99.6

注 内書数值は、内部売上高で、クラフト紙及び板紙は大部分自家製品包装用、その他は見本用に消費したものである。

ハ 主要製品の販売価格(建値)の推移

品種	単位	36年10月	11月	12月	37年1月	2月	3月
		円	円	円	円	円	円
上質紙	シ	94.00	94.00	94.00	94.00	94.00	94.00
銀環紙	シ	68.50	68.50	68.50	68.50	68.50	68.50
クラフト紙	シ	—	—	—	56.50	56.50	56.50
金鐘(袋用)	シ	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
新聞用紙	シ	79.70	79.70	79.70	79.70	79.70	79.70
巻取紙	シ	66.00	66.00	66.00	66.00	66.00	66.00
板紙	シ	61.50	61.50	61.50	61.50	61.50	61.50
段ボール原紙	シ	55.50	55.50	55.50	55.50	55.50	55.50
パルプ	シ	—	—	—	—	—	—
溶解パルプ	シ	—	—	—	—	—	—
晒パルプ	シ	—	—	—	—	—	—
未晒パルプ	シ	—	—	—	—	—	—
晒クラフトパルプ	シ	—	—	—	—	—	—

第4 経理の状況

監査報告書

事業年度 (第43期) {昭和36年10月1日から
昭和37年3月31日まで}

国策パルプ工業株式会社

取締役社長 加藤英夫 殿

作成年月日 昭和37年6月21日
事務所所在地 東京都北区中里町325
事務所名 津屋公認会計士事務所
公認会計士 津屋幸右衛門㊞
電話駒込(821)0560番

私は証券取引法第193条の2に基く財務諸表の監査証明を実施するため、この有価証券報告書に掲げる国策パルプ工業株式会社の第43期事業年度の財務諸表(昭和37年3月31日現在の貸借対照表、昭和36年10月1日から同37年3月31日までの事業年度に係る損益計算書、剰余金計算書剰余金処分計算書及び付属明細表)について監査した。

この監査については私は一般に公正妥当と認められる正規の監査手続及びその時の事情にかんがみ必要と認めた監査手続を実施した。

監査の結果下記(一)及び(二)の事項を除き重要な事項に関して会社の採用する会計処理の原則及び手続は一般に公正妥当と認められた企業会計の基準に準拠し、(三)の事項を除き前期と同一の基準が適用され、又財務諸表は法令の定めるところに従つているものと認めた。従つて会社の上記財務諸表は下記(一)及び(二)の事項を除いてはその財政状態及び経営成績を適正に表示しているものと認めた。

記

- (一) 繰延勘定の内操短費用133,472千円はクラフト紙、上質紙等に關しその生産を制限し価格の低落を防ぎ市価の安定を図るため操業を短縮し殊に上質紙については当局の勧告による指示操短が行われこれがため固定費の割高となつた部分を見積りこれを繰延べたものであります。元来固定費は操業度の如何に拘らず略ば一定の額を必要とするからこれをその期間の費用として配分するを原則とするものであるに拘らずその固定費の一部を見積り次期以降に繰延べることは妥当の処理と認め難い。操業短縮の結果市価の安定により将来の損失を軽減し収益の回復に役立つことは首肯し得るところであるが、本件繰延べた固定費は所謂開発費とその性格を異にするところがあり、又災害による資本的損失とも異なるから本件繰延べを適正な会計処理と認め難いものと思料いたします。
- (二) 貸倒引当金及び退職給与引当金は前期には繰入れたが本期は繰入れなかつた。これは正当の理由によるものと認め難い。もし前期と同一の処理をとつたとすれば貸倒引当金は約20,700千円、退職給与引当金は、約45,700千円の繰入れを要する計算であります。
- 以上(一)、(二)の結果当期純利益に及ぼす影響は正確には計算し難いが純利益概算170百万円を減少する計算であります。
- (三) 新聞紙工場及び小松島工場新設工事の建設期間中の借入資金利息(貸借対照表、建設仮勘定脚注参照)は本期からこれを固定資産の取得原価として処理することとした私はこの変更は是認し得べきものと認めます。

会社と私との利害関係

国策パルプ工業株式会社と私との間に利害関係はない。

以上の通り報告いたします。

(1) 財務諸表

(1) 貸借対照表

勘定科目	第42期(昭36.9.30現在)	
	金額	構成比%
I 資産の部		
I 流動資産		
1 現金及預金	1,571,986	
2 受取手形	329,071	
3 関係会社受取手形	228,992	
4 売掛金	711,541	
5 関係会社売掛金	596,211	
6 原料品用	665,328	
7 材料品	1,091,844	
8 仕掛品	55,989	
9 貯蔵品	400,272	
10 前払費用	245,002	
11 その他の流動資産		
(1) 役員、従業員に対する短期債権	3,164	
(2) 関係会社短期債権	24,344	
(3) 関係会社短期貸付金	276,107	
(4) その他の短期債権	37,927	
(5) 仮払金	197,945	
(6) 不渡手形	5,648	
流動資産計	545,135	
貸倒引当金	6,441,371	27
差引流動資産合計	△ 34,011	
6,407,360	27	
II 固定資産		
1 有形固定資産*		
(1) 建物	3,231,315	
(2) 減価償却引当金	△ 850,193	2,381,122
(3) 構築物	628,448	
(4) 減価償却引当金	△ 217,728	410,720
(5) 機械装置	12,348,306	
(6) 減価償却引当金	△ 3,998,643	8,349,663
(7) 車輛運搬	91,946	
(8) 減価償却引当金	△ 55,233	36,713
(9) 工具器具	184,170	
(10) 減価償却引当金	△ 92,952	91,218
有形固定資産合計	138,126	
(11) 土地	87,056	
(12) 林立地	302,772	
(13) 植林地	2,222,714	
有形固定資産合計	14,020,104	60
2 無形固定資産		
(1) 借地権	288	
(2) 電話加入権	9,601	
(3) 商標権	153	
(4) 専用側線利用権	67,826	
(5) 電気供給施設利用権	16,361	
無形固定資産合計	94,229	0
3 投資資産		
(1) 投資有価証券*	982,213	
(2) 関係会社株式	628,484	
(3) 長期貸付金	91,623	
(4) 役員、従業員に対する長期貸付金	94,445	
(5) 関係会社長期貸付金	878,577	

(昭和37年3月31日) (単位 千円)

第43期(昭37.3.31現在)			比較増減(△)	
金額	構成比	%	金額	
1,026,378			△ 545,608	
377,894			48,823	
189,456			△ 39,536	
885,374			173,833	
658,699			62,488	
1,116,903			451,575	
918,787			△ 173,057	
58,687			2,698	
422,390			22,118	
212,183			△ 32,819	
3,649		485		
26,925		2,581		
138,487		△ 137,620		
71,074		33,147		
60,041		△ 137,904		
5,450	305,626	△ 198	△ 239,509	
	6,172,377	24		△ 268,994
	△ 26,342			△ 7,669
	6,146,035	24		△ 261,325
3,304,339				
△ 914,387	2,389,952		8,830	
870,770				
△ 233,385	637,385		226,665	
12,681,335				
△ 4,504,404	8,096,931		△ 252,732	
92,626				
△ 60,312	32,314		△ 4,399	
191,297				
△ 103,175	88,122		△ 3,096	
	170,041		31,915	
	89,718		2,662	
	308,991		6,219	
*4 4,453,762			2,231,048	
16,267,216		63	2,247,112	
288			—	
9,620			19	
147			△ 6	
78,159			10,333	
56,361			40,000	
144,575		0	50,346	
1,027,780			45,567	
603,448			△ 25,036	
91,521			△ 102	
92,965			△ 1,480	
928,437			49,860	

勘定科目	第42期(昭36.9.30現在)		
	金額	構成比	%
(6) 退職給与引当特定資産	126,374		
(7) その他の投資	164,368		
投 資 合 計	2,966,084		
貸 倒 引 当 金	△ 13,656		
差 引 投 資 合 計	2,952,428	13	
III 固定資産の勘定	17,066,761	73	
延 勘 定			
1 社債発行差金	83,400		
2 港湾浚渫工事分担金	15,792		
3 操縦用紙開発費	—		
4 新聞用紙開発費	—		
緑延勘定合計	99,192	0	
資産の勘定	23,573,313	100	
I 流動負債の部			
1 支払手形 * 6	1,311,511		
2 買掛金	217,052		
3 関係会社買掛金	425,802		
4 短期借入金(一部担保付)	2,292,000		
5 1年内返済予定の長期借入金(担保付)	1,575,268		
6 1年内償還予定の社債(担保付)	49,200		
7 未払金	1,346,611		
8 未払費用	280,567		
9 前受金	7,972		
10 預り金	26,152		
11 役員、従業員からの預り金	363,946		
12 前受収益	12,344		
13 引当金			
(1) 納税引当金	17,902		
(2) 価格変動準備金	135,000	152,902	
14 その他の流動負債			
(1) 関係会社短期債務	85,023		
(2) 仮受金	—	85,023	
II 固定負債の部	8,146,350	35	
1 社債(担保付)	2,242,000		
2 長期借入金(一部担保付)	6,304,165		
3 退職給与引当金	305,364		
4 関係会社固定債務	52,749		
5 その他の固定債務	111,704		
II 固定負債合計	9,015,982	38	
資本の部	17,162,332	73	
I 資本の部	2,251,746	9	
(授権株式数)	(72,000,000株)		
(発行済株式数)	(45,034,920株)		
(未発行株式数)	(26,965,080株)		
II 資本の部	1,108,583		
1 再評価積立金	1,108,583	1,108,583	5
III 利益の部			
1 利益準備金	320,000		
2 任意積立金	1,810,000		
(1) 別途積立金			

第 43 期 (昭 37. 3. 31 現在)			比 較 増 減 (△)	
金額	構成比 %		金額	
127,414			1,040	
176,420			12,052	
3,047,985			81,901	
△ 9,877			△ 3,779	
3,038,108	12		85,680	
19,449,899	75			2,383,138
87,463			4,063	
15,792			—	
133,472			133,472	
62,329			62,329	
299,056	1			199,864
25,894,990	100			2,321,677
1,674,763			363,252	
199,125			△ 17,927	
324,084			△ 101,718	
2,416,000			124,000	
1,542,641			△ 32,627	
67,200			18,000	
2,312,369			965,758	
366,090			85,523	
17,000			9,028	
12,589			△ 13,563	
428,812			64,866	
—			△ 12,344	
72,791			54,889	
—			△ 135,000	△ 80,111
100,227			15,204	
1,727			1,727	16,931
101,954				1,389,068
9,535,418	37			
2,402,400			160,400	
7,145,798			841,633	
288,061			△ 17,303	
52,749			—	
142,118			30,414	
10,031,126	39			1,015,144
19,566,544	76			2,404,212
2,251,746	9			—
(72,000,000株)				
(45,034,920株)				
(26,965,080株)				
1,108,583				—
1,108,583	4			—
332,000			12,000	
1,830,000			20,000	

勘定科目	第42期(昭36.9.30現在)		
	金額	構成比	%
(2)従業員保護資金	215,500		
(3)研究基金	85,000		
(4)造林積立金	270,000		
(5)配当引当積立金	50,000	2,430,500	
3当期末処分利益剩余金			
(1)繰越利益剩余金期末残高	△ 1,844		
(2)当期純利益	301,996	300,152	
利益剩余金合計		3,050,652	13
資本合計		6,410,981	27
負債資本合計		23,573,313	100
注	*1 この他割引手形は、第42期925,620千円、第43期968,018千円、夫々裏書譲渡はない。		
	*2 この他割引手形は、第42期993,695千円、第43期1,208,292千円で、夫々裏書譲渡はない。		
	*3 有形固定資産(土地、林地、植林立木及び建設仮勘定を除く)は、資産再評価法により、昭和25年1月1日に第1次再評価を、同28年10月1日に第3次再評価を行つた。		
	旭川工場及び勇払工場設備(土地55,479千円、建物1,337,927千円、機械装置3,731,426千円、構築物403,191千円:計5,528,025千円)は、工場財團を設定し、下記の担保に供している。		
	(記) 第42期 社債 2,291,200千円 長期借入金 7,042,900千円		
	第43期 △ 2,469,600千円 △ 7,825,400千円		
	*4 小松島工場及び旭川新聞用紙工場の建設期間中の借入資金利息は、費用処理を建前とし、一部は仮払金としていたが、本期より固定資産取得価格に算入することとした。		
	その理由は本件工事が巨額の資金を要するにも拘らず金融並びに業界の客観的情勢の変化により、設備の完成が遅れ完全操業又は本格的稼動が困難なる等、諸般の事情が生じ、これを考慮するとき従来の処理方法は実情に妥当しないものがあるから、固定資産の取得価格に計上することとした。		
	*5 このうち借入金の担保に供しているものは、次の通り。		
	第42期 262,808千円 日本信託銀行(株)からの長期借入金 108,000千円		
	安田信託銀行(△) △ 97,000千円		
	第43期 430,679千円 日本信託銀行(株)からの長期借入金 107,000千円		
	安田信託銀行(△) △ 79,000千円		
	富国生命保険(相互) △ 100,000千円		
	安田生命保険(相互)からの短期借入金 50,000千円		

(2) 損益計算書 (単位 千円)

科 目	第42期(自36.4.1 至36.9.30)		第43期(自36.10.1 至37.3.31)		比較増減(△)
	金額	金額	金額	金額	
I 売上高 *1					
1 総売上高	6,556,545		6,561,123		4,578
2 売上値引及び戻り高	112,433	6,444,112	141,771	6,419,352	29,338 △ 24,760
II 売上原価 *2					
1 期首製品棚卸高	504,945		665,328		160,383
2 当期製品製造原価	5,029,376		5,617,794		588,418
3 期末製品棚卸高 *3	665,328	4,868,993	1,116,903	5,166,219	451,575 297,226
売上総利益		1,575,119		1,253,133	△ 321,986
III 一般管理費及び販売費					
1 役員給与	18,000		18,000		—
2 従業員給料手当	112,758		114,850		2,092
3 法定福利費	4,139		4,000		△ 139
4 福利厚生費	8,501		8,761		260
5 退職金	11,718		1,040,		△ 10,678
6 貸借繕修費	4,980		4,792		△ 188
7 税課金 *4	4,971		4,219		△ 752
8 租税費用	24,836		5,835		△ 19,001
9 旅費交通費	24,676		18,584		△ 6,092
10 交際費	12,090		14,156		2,066

第43期(昭37.3.31現在)			比較増減(△)	
金額	構成比	%	金額	金額
215,500		—		
85,000		—		
270,000		—		
50,000	2,450,500	—	20,000	
265,890		267,734		
△ 80,273	185,617	△ 382,269	△ 114,535	
				△ 82,535
				△ 82,535
				△ 2,321,677

* 6 このうち設備関係手形は、第42期647,106千円、第43期736,855千円である。

* 7 保証債務は次の通り。

保証先	金額	(単位 千円)				
		内島	製紙	業袋	(株)	借入金
(株)日本興業銀行	472,000	三日富北千日北海道	島本富士海道曹代田	製紙業達紙業	(株)(株)(株)	
安田信託銀行(株)	97,000	日本北海道	紙製袋曹	業達紙業	(株)	
(株)日本興業銀行他	44,000	富士北海道	製袋曹	業達紙業	(株)	
(株)東京都民銀行	64,400	北海道	曹	業達紙業	(株)	
(株)富士銀行日比谷支店他	57,518	千代田	紙業	業達紙業	(株)	
旭川支店他	184,751	日比谷	商事	業達紙業	(株)	
北海道森林組合連合会	801,944	北海道	林	業達紙業	(株)	
計	56,000	国策木	材	業達紙業	(株)	
	1,777,613					

科 目	第42期(自36.4.1 至36.9.30)		第43期(自36.10.1 至37.3.31)		比較増減(△)	
	金額	金額	金額	金額	金額	金額
11 消耗品費	3,107	4,158			1,051	
12 水道光熱費	1,285	2,039			754	
13 広告宣伝費	8,896	8,338			△ 558	
14 減価償却費	21,610	19,062			△ 2,548	
15 雑費	42,190	44,938			2,748	
16 製品運送費	376,049	524,147			148,098	
17 製品物品税料	47,246	43,004			△ 4,242	
18 販売手数料	40,284	42,256			1,972	
19 販売壳手数料	31,963	799,299	216,217	1,098,396	184,254	299,097
營業利益		775,820			154,737	△ 621,083
IV 営業外収益						
1 受取利息	81,457	80,633			△ 824	
2 関係会社受取配当金	13,754	23,129			9,375	
3 その他受取配当金	23,323	24,641			1,318	
4 受取割引料	19,795	37,578			17,783	
5 有価証券売却益	3,693	142,212			138,519	
6 不用品売却益	15,504	21,980			6,476	
7 棚卸益	1,725	275			△ 1,450	
8 雜収入	14,454	173,705	66,373	396,821	51,919	223,116

科 目	第42期(自36.4.1 至36.9.30)	第43期(自36.10.1 至36.3.31)	比較 増 減(△)
	金額	金額	金額
当期総利益	949,525	551,558	△ 397,967
V 営業外費用			
1 支払利息及び割引料	499,610	553,527	53,917
2 社債利息	49,497	58,879	9,382
3 貸倒引当金繰入額	16,500	—	△ 16,500
4 寄付金	2,733	1,044	△ 1,689
5 登録税, その他租税	9,884	8,062	△ 1,822
6 コーター部試運転費	18,043	—	△ 18,043
7 K.C ブロック休転費用	9,137	592	△ 8,545
8 雑損失	42,125	647,529	△ 32,398 △ 15,698
当期純利益	301,996	631,831	△ 80,273 △ 382,269

注 * 1 このうち関係会社売上高は、第42期 2,819,271千円、第43期 2,716,255千円である。

* 2 売上高及び売上原価中の自家消費高は、第42期 59,365千円、第43期 59,744千円である。

* 3 棚却方法及び評価基準

種類	棚卸方法	評価方法
製品	帳簿棚卸法(期末実地棚卸を行ない修正) △	総平均法(月別)による低価法 原価法
仕掛品	△ (年1回実地棚卸を行ない修正)	移動平均法による低価法
原材料	△ (△ △)	△
原貯蔵品		

* 4 このうち事業税、第42期 13,995千円、第43期 13,567千円

固定資産税及び都市計画税、第42期 2,930千円、第43期 3,460千円

* 5 第41期において、損益計算書に計上した価格変動準備金繰入額 15,000千円、固定資産除却及び売却損 11,147千円を、剩余金計算書に振替掲記した。

* 6 当期の減価償却実施額は、固定資産の耐用年数等に関する省令の一部改正に伴う、改正耐用年数によつて。なお、これによつて、改正前耐用年数による場合に比して、概算 77百万円の増加となつた。

製品製造原価明細表

(単位 千円)

原価要素	第42期(自36.4.1 至36.9.30)		第43期(自36.10.1 至37.3.31)		比較増減(△)	備考
	金額	構成比	金額	構成比		
材料費		%		%		
原木費	3,419,815	68	4,014,600	71	594,785	
紙品費	1,857,857		2,152,307		294,450	
薬品費	25,352		34,062		8,710	
塗料費	513,216		484,969		△ 28,247	
蒸氣費	46,189		40,747		△ 5,442	
電力費	—		49,769		49,769	
荷造費	244,340		395,356		△ 151,016	
電力費	312,504		412,579		100,075	
荷助費	143,628		139,160		△ 4,468	
補助料	276,729		305,651		28,922	
労務費	637,003	13	687,541	12	50,538	
給料費	506,883		538,503		31,620	
賞賛費	116,698		136,159		19,461	
臨時雇用費	13,422		12,879		△ 543	
経常福利厚生費	1,022,598	20	879,216	16	△ 143,382	
法定福利厚生費	66,204		67,213		1,009	
厚生費	31,539		33,441		1,902	
経費	34,665		33,772		△ 893	
	956,394		812,003		△ 144,391	

原価要素	第42期(自36.4.1 至36.9.30)		第43期(自36.10.1 至37.3.31)		比較増減(△)	備考
	金額	構成比%	金額	構成比%		
請負作業費	103,999		151,223		47,224	
支払修繕費	83,070		94,229		11,159	
減価償却費	587,945		666,071		78,126	
退職保険料	58,788		5,057		△ 53,731	
支払	7,342		9,083		1,741	
租税公課	113,908		111,679		△ 2,229	固定資産税、電気税他
支払運賃	5,532		5,608		76	
水道光熱費	4,310		4,354			44
消費耗品費	4,897		5,406			509
旅通費	7,832		5,931		△ 1,901	
交信費	5,044		5,506		462	
雜費	4,839		5,356		517	
控除項目	49,190		43,561		△ 5,629	
原価差額調整額	△ 80,302		△ 301,061		△ 220,759	他勘定振替
合計	△ 42,361	△ 1	39,135	1	81,496	
期首仕掛品	5,037,055	100	5,620,492	100	583,437	
期末仕掛品	48,310		55,989		7,679	
当期製品製造原価	55,989		58,687		2,698	
	5,029,376		5,617,794		588,418	

注 * 1 会社の採用している原価計算の方法 加工費工程別総合原価計算
(3) 剰余金計算書

科 目	利益 剰余金 の 部			(単位 千円)	
	第42期(自36.4.1 至36.9.30)		第43期(自36.10.1 至37.3.31)		比 較 増 減(△)
	金額	金額	金額	金額	
未処分利益剰余金					
1 前期未処分利益剰余金	256,928		300,152		43,224
2 前期利益剰余金処分額					
(1) 利益剰余金	10,000		12,000		2,000
(2) 税金	75,000		100,000		25,000
(3) 配当金	90,070		90,070		—
(4) 役員賞与金	3,000		3,000		—
(5) 任意積立金	10,000		20,000		10,000
(イ) 別途積立金	(10,000)	188,070	(20,000)	225,070	(10,000) 37,000
3 緑越利益剰余金增加高					
(1) 貸倒引当金戻入額	6,386		11,431		5,045
(2) 價格変動準備金戻入額	—		135,000		135,000
(3) 前期損益修正	—	6,386	45,832	192,263	45,832 185,877
4 緑越利益剰余金減少高					
(1) 緑延利息償却	20,205				△ 20,205
(2) 固定資産除却売却損	6,883		1,455		△ 5,428
(3) 價格変動準備金繰入額	50,000	77,088	—	1,455	△ 50,000 △ 75,633
緑越利益剰余金残高	△ 1,844		265,890		267,734
5 当期利益金	301,996		△ 80,273		△ 382,269
当期未処分利益剰余金		300,152		185,617	△ 114,535

注 利益準備金及び任意積立金については、前期利益剰余金処分による繰入額以外の変動はない。

* 1 過年度の支払利息を固定資産へ計上したものである。(貸借対照表脚注4参照)

資本剰余金の部 (単位 千円)

科 目	第42期 (自36. 4. 1 至36. 9. 30)	第43期 (自36.10. 1 至37. 3. 31)	比較 増 減 (△)
	金額	金額	金額
再評価積立金			
1 前期末残高	1,110,255	1,108,583	△ 1,672
2 当期処分額 *1	1,672	—	△ 1,672
3 当期期末残高	1,108,583	1,108,583	—
次期繰越資本剰余金	1,108,583	1,108,583	—

注 * 1 再評価資産の譲渡による取崩 第42期 1,672千円 第43期 —

(4) 剰余金処分計算書 (単位 千円)

科 目	第42期 (36.11.28)	第43期 (37. 5. 30)	比較 増 減 (△)
	金額	金額	金額
I 当期末処分利益剰余金			
1 繰越利益剰余金期末残高	△ 1,844	265,890	267,734
2 当期純利益	301,996 300,152	△ 80,273 185,617	△ 382,269 △ 114,535
II 利益剰余金処分額			
1 利益準備金	12,000	6,000	△ 6,000
2 税金	100,000	24,000	△ 76,000
3 配当金	90,070	67,552	△ 22,518
4 役員賞与金	3,000	3,000	—
5 任意積立金			
(イ) 別途積立金	20,000 20,000 225,070	10,000 10,000 110,552	△ 10,000 △ 10,000 △ 114,518
III 次期繰越利益剰余金	75,082	75,065	△ 17

(5) 付属明細表

イ 有価証券明細表

イ) 投資有価証券 (単位 千円)

銘柄	1株の金額	株数	取得価格	貸借対照表上額	摘要	要
円						
株式						
住友石炭鉱業(株)	50	181,024	6,740	6,740	取得価格及び貸借	
武佐鉱山	500	10,000	5,000	5,000	対照表計上額算定	
アラビア石油	500	114,000	57,000	57,000	の基準は原則とし	
南方林業	500	15,000	7,500	7,500	て移動平均法によ	
理研光学工業	50	220,000	13,800	13,800	る原価法である。	
アラスカパルプ	500	24,752	12,376	12,376		
高崎製紙	50	2,705,200	196,244	196,244		
(株)西野製紙所	50	200,000	10,000	10,000		
日本東紡績(株)	50	362,500	17,274	17,274		
北海道木材化學	500	60,000	30,000	30,000		
江東邦紙業	50	150,000	7,050	7,050		
(株)日本興業銀行	50	100,000	5,000	5,000		
三富士銀	50	1,232,000	56,071	56,071		
北海道拓殖銀行	50	1,600,000	80,284	80,284		
東京都民銀行	50	1,200,000	57,618	57,618		
安田信託銀行(株)	500	37,500	18,750	18,750		
山一証券	50	500,000	25,930	25,930		
日興証券	50	500,000	24,531	24,531		
(株)産業経済新聞社	500	240,000	11,995	11,995		
	500	31,000	15,500	15,500		

銘柄	1株の金額	株数	取得価格	貸借対照表上額	摘要	要
(株) 文化放送	円 500	16,000	8,000	8,000		
朝日放送	500	30,000	14,913	14,913		
北海道放送	500	10,000	5,000	5,000		
紙パルプ会館	500	30,510	15,255	15,255		
産業会館ビルディング	50	120,000	6,000	6,000		
ニューホテル北海道	500	39,750	19,875	19,875		
北海道電力	500	200,000	84,000	84,000		
苦小牧埠頭	500	20,000	10,000	10,000		
苦小牧港開発	500	20,000	10,000	10,000		
その他の社	62		98,461	98,461		
計			930,167	930,167		

口) 有価証券(流動資産)

(単位 千円)

銘柄	券面総額	取得価格	貸借対照表上額	摘要	要
社債・国債及び地方債					
(株) 産業経済新聞社社債	1,000	1,000	1,000		
a 農地証券	9	9	9		
計		1,009	1,009		
その他の有価証券					
鉄道利用債券他政府保証債券		7,668	7,668		
農林業資本信託		14,104	14,104		
		49,880	49,880		
		24,952	24,952		
		96,604	96,604		
合計		1,027,780	1,027,780		

口) 有形固定資産明細表

(単位 千円)

資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却引当金	差引期末高	摘要	要
建物	3,231,315	75,680	2,656	3,304,339	914,387	2,389,952	(主要增加内訳)	
構築物	628,448	242,610	288	870,770	233,385	637,385	新聞用紙工場沈澱池他	198,125
機械装置	12,348,306	342,027		8,998 12,681,335	4,584,404	8,096,931	(主要增加内訳)	
車輛運搬具	91,946	680	—	92,626	60,312	32,314		
工具器具備品	184,170	7,252	125	191,297	103,175	88,122		
土地	138,126	31,945	30	170,041	—	170,041		
林地	87,056	2,662	—	89,718	—	89,718		
植立木	307,442	9,154	2,028	314,568	5,577	308,991		
建設仮勘定	2,222,714	2,995,730	764,682	4,453,762	—	4,453,762		
計	19,239,523	3,707,740	778,807	22,168,456	5,901,240	16,267,216		

ハ) 無形固定資産明細表

(単位 千円)

資産の種類	取得原価	当期増加額	当期減少額	減価償却累計額	期末現在額	摘要	要
借地権	288	—	—	—	288		
電話加入権	9,749	36	17	148	9,620		
商標権	200	—	—	53	147		
専用側線利用権	89,264	11,850	—	22,955	78,159		
電気供給施設利用権	23,815	40,786	—	8,240	56,361		
計	123,316	52,672	17	31,396	144,575		

二 関係会社株式明細表

(単位 千円)

銘柄	1株の金額	前期 繰越高				当期増減(△)額		期末 残高				摘要
		株数	取価	得格	貸借対照表計上額	株数	金額	株数	取価	得格	貸借対照表計上額	
日比谷商事(株)	500 円	60,000	30,000	30,000	—	—	60,000	30,000	30,000	取得価格及び貸借対照表計算上の基準は原則として移動平均法による原価法である。	取得価格及び貸借対照表計算上の基準は原則として移動平均法による原価法である。	
千代田興業	50	400,000	20,000	20,000	—	—	400,000	20,000	20,000	—	—	
千代田紙業	50	1,590,800	70,622	70,622	—	—	1,590,800	70,622	70,622	—	—	
富士製袋	500	14,000	6,340	6,340	—	—	14,000	6,340	6,340	—	—	
三島製紙	50	3,524,864	170,803	170,803 △ 524,864 △ 25,036	—	—	3,000,000	145,767	145,767	—	—	
真砂製紙	500	29,000	7,329	7,329	—	—	29,000	7,329	7,329	—	—	
日本紙業	50	1,297,250	77,034	77,034	—	—	1,297,250	77,034	77,034	—	—	
北海道林業	500	140,000	70,000	70,000	—	—	140,000	70,000	70,000	—	—	
日本造林	500	10,000	5,000	5,000	—	—	10,000	5,000	5,000	—	—	
西日本林業	500	6,000	3,000	3,000	—	—	6,000	3,000	3,000	—	—	
北海道曹達	50	2,114,000	105,700	105,700	—	—	2,114,000	105,700	105,700	—	—	
(株)勇払土地利用研究所	50	9,500	475	475	—	—	9,500	475	475	—	—	
丸國組	500	2,200	1,100	1,100	—	—	2,200	1,100	1,100	—	—	
国策共栄(株)	500	8,162	4,081	4,081	—	—	8,162	4,081	4,081	—	—	
国策木材	500	100,000	50,000	50,000	—	—	100,000	50,000	50,000	—	—	
磯部硫黄	1,000	7,000	7,000	7,000	—	—	7,000	7,000	7,000	—	—	
計		628,484	628,484	— △ 25,036	—	—	603,448	603,448	603,448	—	—	

注 主要関係会社明細

(単位 千円)

関係会社名	発行済株式	資本金	当社の持株数	摘要
日比谷商事(株)	80,000 株	40,000	60,000 株	商品(紙、パルプ)の大部分を継続的に当社が提供している。
千代田紙業	3,600,000	180,000	1,590,800	原料商品(紙)
三島製紙	8,000,000	400,000	3,524,864	原料(パルプ)
日本紙業	9,000,000	450,000	1,297,250	—
北海道林業	140,000	70,000	140,000	原料(原木)の大部分を当社が提供し、当社に製材等を供給している。
国策木材	100,000	50,000	100,000	当社に原木の全部を供給している。

ホ 関係会社出資金明細表

該当事項なし

ヘ 関係会社貸付金明細表

(単位 千円)

関係会社名	前期繰越高	当期増加額	当期減少額	期末残高	利息	使途	返済期日	備考
(イ)(短期貸付金)								
国策木材(株)	223,062	—	163,682	59,380	日歩2.3錢	運転資金	37. 4.30	
日比谷商事	20,000	—	—	20,000	2.4%	—	37. 8.31	
西日本林業	19,100	2,500	—	21,600	2.5%	—	37. 9.30	
日本造林	945	2,562	—	3,507	年 6.5%	—	37. 7.31	
富士製袋	13,000	21,000	—	34,000	日歩2.4錢	—	37. 9.30	
計	276,107	26,062	163,682	138,487				
(ロ)(長期貸付金)								
三島製紙(株)	53,000	—	50,000	3,000	日歩2.7錢	運転資金	41. 8.31	
千代田紙業	174,200	—	32,000	142,200	2.5%	—	41. 9.30	

関係会社名	前期 緑越高	当期 増加額	当期 減少額	期残 高	摘要				要 備考
					利 息	使 途	返済期日		
千代田興業(株)	44,281	—	1,750	42,531	日歩2.4錢	運転資金	未定		
国策木材	19,459	—	5,559	13,900	2.7%	設備資金	38. 3.31		
北海道林業	77,300	17,700	—	95,000	2.5%	運転	44. 9.20		
日本造林	10,377	—	540	9,837	2.7%	設備	46. 6.30		
北海道曹達	2,500	—	300	2,200	2.3%	運転	39.11.30		
日本紙業	440,000	—	20,000	420,000	2.7%	設備	47. 6.30		
(株)勇払土地利用研究所	34,820	1,800	—	36,620	年6.5%	設備	未定		
国策共生(株)	2,640	—	480	2,160	日歩2.7錢	運転	39. 4.30		
日比谷商事	20,000	139,089	—	159,089	年3.0%	設備	40.11.30		
(株)丸國組	—	1,900	—	1,900	日歩2.7錢	設備	41.10.30		
計	878,577	160,489	110,629	928,437					

ト社債明細表

(単位 千円)

銘柄	発行年月日	発行総額	償還額	未残高	償還年	発行価格	利率(年)	担保種類・目的	償期	要 備考
円 年										
国策パルプ工業株式会社第2回ろ号物上担保付社債	32.10.22	60,000	7,200	(3,600) 52,800	98	7.5%	旭川・勇払工場財團第1順位	39.10.22	35/4.22~39/4.22 6ヶ月毎に1,800最終回43,800	
第2回は号	33. 2.22	60,000	7,200	(3,600) 52,800	—	—	—	40. 2.22	35/8.22~39/8.22 6ヶ月毎に1,800最終回43,800	
第2回に号	35. 5.20	100,000	9,000	(6,000) 91,000	—	—	—	40. 5.20	35/11.20~39/11.20, 6ヶ月毎に3,000最終回73,000	
第2回ほ号	33. 9.22	100,000	9,000	(6,000) 91,000	—	—	—	40. 9.22	36/3.22~40/3.22 6ヶ月毎に3,000最終回73,000	
第2回へ号	34. 1.22	200,000	12,000	(12,000) 188,000	—	—	—	41. 1.22	36/7.22~40/7.22 6ヶ月毎に6,000最終回146,000	
第2回と号	34. 4.25	200,000	6,000	(12,000) 194,000	—	—	—	41. 4.25	36/10.25~40/10.25, 6ヶ月毎に6,000, 最終回146,000	
第2回ち号	34.12.21	200,000	—	(12,000) 200,000	—	—	—	41.12.21	37/6.21~41/6.21 6ヶ月毎に6,000最終回146,000	
第2回り号	35. 7.25	200,000	—	(6,000) 200,000	—	—	—	47. 7.25	38/1.25~42/1.25 6ヶ月毎に6,000最終回146,000	
第3回い号	35. 9.22	200,000	—	(6,000) 200,000	—	—	旭川・勇払工場財團第2順位	42. 9.22	38/3.22~42/3.22 6ヶ月毎に6,000最終回146,000	
第3回ろ号	36. 1.25	200,000	—	200,000	—	—	—	43. 1.25	38/7.25~42/7.25 6ヶ月毎に6,000最終回146,000	
第3回は号	36. 3.25	500,000	—	500,000	—	—	—	43. 3.25	38/9.25~42/9.25 6ヶ月毎に15,000最終回365,000	
第3回に号	36. 7.25	300,000	—	300,000	98.75	7.3%	—	43. 7.25	39/1.25~43/1.25 6ヶ月毎に12,000最終回192,000	
第3回ほ号	36.12.25	200,000	—	200,000	—	—	—	43.12.25	39/6.25~43/6.25 6ヶ月毎に8,000最終回120,000	
計		2,520,000	50,400	(67,200) 2,469,600						

注 未償還残高欄内書金額 67,200 千円は、1年内償還予定額で流動負債に計上した。

固定負債計上額は 2,242,000 千円である。なお用途は借入金返済及び設備資金にあてる。

チ 長期借入金明細表

(単位 千円)

借入先	前期繰越高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
(株)日本興業銀行	(623,000) 2,975,000	540,000	341,000	(588,000) 3,174,000	全額工場財団抵当
富士銀行日比谷支店	(309,000) 1,449,000	320,000	111,000	(235,000) 1,658,000	一部 △
北海道拓殖銀行東京支店	(78,000) 400,000	36,000	36,000	(100,000) 400,000	全額 △
安田信託銀行(株)	(147,000) 559,000	125,000	61,000	(206,000) 623,000	工場財団抵当, 株券 担保
日本信託銀行	(74,000) 108,000	40,000	41,000	(69,000) 107,000	全額株券担保
第一信託銀行(株)銀座支店	50,000	—	—	50,000	工場財団抵当
旭川市役所	(6,367) 52,562	—	3,133	(6,574) 49,429	住宅担保
苫小牧市役所	(3,400) 32,079	—	1,673	(3,511) 30,406	△
農林漁業金融公庫	(1,109) 48,323	—	498	(1,138) 47,825	山林担保
住宅金融公庫	(792) 74,569	—	390	(818) 74,179	住宅担保
北海道東北開発公庫	(332,600) 2,130,900	410,000	166,300	(332,600) 2,374,600	工場財団及びアス パーズ設備抵当
富国生命保険(相互)	—	100,000	—	100,000	株券担保
計	(1,575,268) 7,879,433	1,571,000	761,994	(1,542,641) 8,688,439	

注 合計欄内書金額は分割返済期限が1年内に到来するもので、流動負債に計上した。

固定負債計上額は第42期 6,304,165 千円 第43期 7,145,798 千円である。

長期借入金の内訳は次の通り。

(単位 千円)

借入先	期末残高	返済期日	使途	利率	摘要		要
					総額	返済方法	
(株)日本興業銀行	162,000	38. 7. 31	設備資金	日歩 2.6錢	300,000	34/7~36/6 毎月 2,000 36/7~38/6 每月 10,000, 38/7, 36,000	
△	212,000	38. 12. 31	△	△	300,000	34/12~35/11 每月 1,000 35/12~36/11 每月 3,000 36/12以降毎月 10,000 38/12, 12,000	
△	810,000	40. 7. 31	△	△	1,050,000	36/4 以降毎月 20,000 以上	
△	690,000	41. 3. 31	△	△	750,000	36/4~38/7 每月 5,0000 38/8~40/7 每月 15,000	
△	450,000	42. 3. 31	△	△	450,000	40/8以降30,000 37/4~38/3 每月 2,000 38/4~39/3 每月 5,000 39/4以降毎月 10,000	
△	850,000	42. 9. 30	△	年 9.1%	1,000,000	37/10~38/9 每月 4,000 38/10~39/9 每月 10,000 39/10~41/3 每月 20,000 41/4~42/8 每月 26,000 42/9, 30,000	
(株)富士銀行日比谷支店	150,000	38. 7. 31	運転資金	2.5 錢	150,000	38/7 全額	
△	90,000	40. 3. 31	△	△	170,000	35/4 以降毎月 2,000	
△	246,000	38. 10. 31	△	△	250,000	38/10 全額	
△	287,000	39. 11. 30	設備資金	△	350,000	36/9 以降毎月 9,000	
△	235,000	41. 2. 28	△	△	250,000	37/1 以降毎月 5,000	

借入先	期末残高	返済期日	使途	利率	摘要	
					総額	返済方法
(株)富士銀行日比谷支店	150,000	41. 3. 31	設備資金	2.5 銭	150,000	38/4 以降毎月 4,000
"	50,000	41. 12. 31	"	"	550,000	37/11~38/6 毎月 5,000 38/7~39/6 毎月 10,000 39/7~42/12 毎月 13,000
(株)北海道拓殖銀行東京支店	100,000	38. 3. 31	運転資金	"	100,000	38/3 全額
"	160,000	39. 11. 30	設備資金	"	200,000	36/8 以降毎月 5,000
"	44,000	40. 5. 31	"	"	100,000	37/1~38/12 毎月 2,000 39/1 以降毎月 3,000
"	50,000	41. 3. 31	"	"	50,000	38/5~39/12 毎月 1,000 40/1 以降毎月 2,000
"	46,000	41. 6. 30	"	"	100,000	37/11~40/12 毎月 2,000 41/1~41/6 毎月 4,000
安田信託銀行(株)	91,000	39. 7. 31	"	2.6 銭	100,000	37/1~39/6 毎月 3,000 39/7 10,000
"	100,000	40. 4. 30	"	"	100,000	37/10~39/3 毎月 3,000 40/4 10,000
"	52,000	38. 12. 20	運転資金	"	100,000	35/12 以降 3, 6, 9, 12 各月に 8,000
"	46,000	38. 6. 30	"	"	100,000	35/10 以降毎月 3,000
"	79,000	39. 5. 31	"	"	100,000	36/9 以降毎月 3,000
"	50,000	41. 2. 28	設備資金	"	50,000	38/7~38/12 毎月 1,000 39/1~39/12 毎月 1,500 40/1~40/12 毎月 2,000 41/1 以降毎月 1,000
"	205,000	41. 6. 30	"	"	300,000	37/4~38/3 毎月 4,000 38/4~40/3 毎月 5,000 40/4~40/9 毎月 6,000 40/10~41/5 毎月 10,000 41/6 16,000
日本信託銀行(株)	10,000	37. 7. 10	運転資金	"	20,000	36/10,37/1,37/4,37/7 各 5,000
"	15,000	38. 9. 10	"	"	20,000	37/3,37/9,38/3,38/9,各 5,000
"	12,000	38. 5. 10	"	"	20,000	36/8 以降毎月 1,000
"	14,000	"	"	"	20,000	36/10 以降毎月 1,000
"	16,000	38. 7. 31	"	"	50,000	36/12 以降毎月 1,000
"	40,000	38. 12. 31	"	"	40,000	37/10~38/2 毎月 2,000 38/3~38/12 毎月 3,000
第一信託銀行(株)銀座支店	50,000	41. 5. 22	"	"	50,000	41/5 全額
旭川市役所	3,590	40. 3. 31	設備資金	6.5 %	9,000	31/9 以降年賦償還
"	4,642	40. 11. 1	"	"	9,000	32/5 "
"	8,443	41. 11. 1	"	"	13,500	33/4 "
"	9,792	43. 3. 31	"	"	16,000	32/3 "
"	10,717	44. 3. 1	"	"	15,000	33/9 "
"	12,245	58. 2. 1	"	"	13,000	34/8 "
"	2,217	40. 3. 1	"	"	6,000	30/9 "
"	7,817	41. 11. 1	"	"	12,500	33/5 "
"	7,618	43. 9. 1	"	"	12,000	32/3 "
"	7,893	52. 3. 1	"	"	9,000	33/9 "
"	4,861	55. 2. 1	"	"	5,000	36/8 "
"	2,976	41. 11. 30	"	6 %	7,000	32/11 "
"	1,077	54. 8. 31	"	6.5 %	3,250	35/8 "
"	514	"	"	4.5 %	550	"
"	8,125	55. 9. 30	"	6.5 %	8,340	36/9 "
"	2,120	"	"	4.5 %	2,190	"
"	5,000	56. 9. 30	"	6.5 %	5,000	37/8 "
"	4,000	"	"	4.5 %	4,000	"
"	5,992	57. 9. 30	"	"	18,000	38/9 "

借入先	期末残高	返済期日	使途	利率	摘要	
					総額	返済方法
農林漁業金融公庫	6,500	58. 9. 30	設備資金	6.5%	17,000	38/9 以降年賦償還
"	4,520	59. 9. 30	"	"	5,000	45/9 "
"	2,000	"	"	"	2,000	"
"	5,000	60. 9. 30	"	"	5,000	46/9 "
住宅金融公庫	3,005	60. 10. 25	"	"	3,280	31/1 "
"	10,053	66. 7. 15	"	"	10,580	31/10 "
"	3,688	66. 10. 10	"	"	3,870	31/11 "
"	9,044	67. 11. 10	"	"	9,390	32/2 "
"	16,091	70. 12. 22	"	"	16,250	36/3 "
"	5,117	66. 6. 20	"	"	5,400	31/9 "
"	2,587	"	"	"	2,700	32/9 "
"	8,083	69. 3. 20	"	"	8,290	34/6 "
"	4,639	62. 10. 25	"	"	4,900	33/1 "
"	3,852	63. 10. 25	"	"	4,010	34/4 "
"	8,021	69. 12. 10	"	"	8,170	35/3 "
北海道東北開発公庫	39,200	40. 3. 20	"	8.7%	80,000	36/6 以降3,6,9,12に各 3,400月以上
"	18,750	40. 12. 20	"	"	30,000	35/3 " "
"	43,450	"	"	"	70,000	2,950以上 "
"	549,000	44. 9. 20	"	"	660,000	35/12 " "
"	520,000	44. 8. 20	"	"	590,000	36/5 " 2,5,8,11各月 17,500以上 "
"	328,600	44. 11. 20	"	"	350,000	36/11 " "
"	375,700	"	"	"	400,000	36/11 " "
"	499,900	44. 8. 20	"	"	550,000	36/8 " "
富国生命保険(相互)	100,000	40. 2. 19	運転資金	2.8%	100,000	38/7 以降毎月 5,000
計					8,688,439	

リ 関係会社借入金明細表

該当事項なし。

ヌ 資本金明細表

銘柄		発行数	券面額又は1株の発行価額	券面総額又は資本組入総額	上取引所名	場所	摘要	要
既発行株式	額面式	国策パルプ工業株式会社 計	45,034,920	50 2,251,746,000	東京, 大阪 名古屋, 神戸, 福岡, 札幌, 新潟 広島	関係会社の当社株式所有数 千代田紙業(株) 437,700株 227,500 "		
	無額面株式	なし	45,034,920	2,251,746,000	千代田興業	168,379 "		

株式発行のない資本の額

資本の額 2,251,746,000円

準備金の 資本組入	資本組入額 円	摘要		要
		300,000,000	昭和29年5月1日再評価積立金の一部資本組入	
	480,000,000	" 31年11月26日	"	
	84,000,000	" 33年5月27日	"	
	88,200,000	" 33年11月26日	"	
	92,610,000	" 34年4月1日	"	
	97,240,500	" 34年10月1日	"	
	102,120,000	" 35年4月1日	"	
	107,226,000	" 35年10月1日	"	
	計 1,351,396,500	"		

ル 減価償却費明細表

(単位 千円)

資産の種類	取得原価	当期償却額	償累計額	当期末残高	償却累計率	償却方法	償却範囲額に対する過不足(△)額	
							当期分	累計
%								
有形固定資産								
建物	3,304,339	64,949	914,387	2,389,952	28.0	定率法	△ 5,466	△ 64,648
構築物	870,770	15,698	233,385	637,385	27.0	△	—	—
機械装置	12,681,335	591,091	4,584,404	8,096,931	36.0	△	△ 70,173	△ 226,639
車輛運搬具	92,626	5,079	60,312	32,314	65.0	△	—	—
工具器具備品	191,297	10,289	103,175	88,122	53.0	△	△ 6	△ 129
植立木	314,568	907	5,577	308,991	—	造林費特別償却	—	—
計	17,454,935	688,013	5,901,240	11,553,695	34.0		△ 75,645	△ 391,416
無形固定資産								
電話加入権	9,768	—	148	9,620	—		—	—
商標権	200	7	53	147	27.0	定額法	—	—
専用側線利用権	101,114	1,517	22,955	78,159	23.0	△	—	—
電気供給施設利用権	64,601	786	8,240	56,361	13.0	△	—	—
計	175,683	2,310	31,396	144,287	18.0		—	—
合計	17,630,618	690,323	5,932,636	11,697,982	34.0		△ 75,645	△ 291,416

注 傷却不足額はすべて特別傷却分である。

(2) 主な資産、負債の内容

(1) 流動資産明細

イ 現金及び預金

(単位 千円)

種類	額	摘要	要
定期預金	666,008	(株)日本興業銀行他	
定期通知預金	12,000	△ 足利銀行東京支店他	
定期計	348,370	△ 日本興業銀行他	
	1,026,378		

ロ 受取手形

(単位 千円)

振出人	額	摘要	要
東邦住宅紙業(株)	72,338	製品売上代金	
江華産業	136,891	△	
菱丸	53,756	△	
諸	26,707	△	
紅飯田口	33,737	△	
計	54,465	△	
	377,894	△	

注 手形期日は、60日乃至130日で、割引手形968,018千円は控除してある。

受取手形及び割引手形の期日別内訳は次の通り

(単位 千円)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	計
受取手形	135,051	83,352	78,744	41,371	39,376	377,894
割引手形	302,100	321,631	229,295	114,992	—	968,018

ハ 関係会社受取手形

(単位 千円)

振出人	額	摘要	要
日本比谷商業(株)	172,579	製品売上代金	
千代田紙業	3,093	△	
北海南道林業	13,784	原木売却代金	
計	189,456		

注 手形期日は60日乃至130日で、割引手形1,208,292千円は控除してある。

関係会社受取手形及び割引手形の期日別内訳は次の通り。

(単位 千円)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	計
受取手形	65,826	43,128	54,972	12,531	12,999	189,456
割引手形	369,049	370,298	420,282	48,663	—	1,208,292

ニ 売掛金

(単位 千円)

相手先	金額	摘要	要
東邦紙業(株)	207,300	製品売上代	
安宅工業	286,471	△	
江華商業	80,689	△	
菱井物産	98,582	△	
三井紡業	73,435	△	
日諸口	61,756	△	
計	77,141	△	
	885,374		

注 売掛金の回収状況

(単位 千円)

前期繰越高	当期発生高	当期回収高	期末残高	摘要	要
711,541	3,525,451	3,351,618	885,374	回 収 率	
				当 期	79.1%
				前 期	83.0%
滞留状況					
3月分	680,153				
2月分	205,221				

ホ 関係会社売掛金

(単位 千円)

相手先	金額	摘要	要
日比谷商事(株)	499,672	製品売上代	
千代田紙業	159,027	△	
計	658,699		

注 関係会社売掛金の回収状況

(単位 千円)

前期繰越高	当期発生高	当期回収高	期末残高	摘要	要
596,211	2,669,637	2,607,149	658,699	回 収 率	
				当 期	79.8%
				前 期	82.8%
滞留状況					
3月分	438,940				
2月分	219,759				

ヘ 製品

(単位 千円)

品種別	金額	摘要	要
上ク新パ諸 ラ聞ル	316,409 162,428 253,700 352,375 31,991	板紙他	
質フト 用紙	1,116,903		
計			

ト 原材料

(単位 千円)

種類	金額	摘要	要
原木(松丸太)	459,256		

種類	金額	摘要	要
原木 (松丸太)	459,256		
木 (潤丸太)	291,737		
木 (松割材他)	30,128		
料品	103		
料品	90,940		
料品	46,623		
計	918,787		

チ仕掛品

(単位 千円)

区分	金額	摘要	要
旭川工場仕掛品	49,286		
勇払工場	9,401		
計	58,687		

リ貯蔵品

(単位 千円)

種類	金額	摘要	要
主修荷電諸要繕造氣	84,555	抄紙用具他	
用材用具	39,754	煉瓦、保温材他	
用品	22,589	鉄線類	
品口	9,937	電線類	
品口	265,555	ベルト、ホース類他	
計	422,390		

ヌ前払費用

(単位 千円)

項目	金額	摘要	要
未前前諸経払過材利経	90,345	借入金利息、手形割引料	
前諸経	54,153	抄紙用具等未使用残	
前諸	44,253	火災保険料他	
計	23,432		
	212,183		

ル 役員、従業員に対する短期債権

(単位 千円)

項目	金額	摘要	要
短期債権諸口	3,649	一時立替金他	
計	3,649		

ヲ 関係会社短期債権

(単位 千円)

関係会社名	金額	摘要	要
(株)丸北海道比日諸	14,642	未収入金他	
国林商事	6,498	△	
組業(株)	2,430	△	
口	3,355		
計	26,925		

ワ その他の短期債権

(単位 千円)

項目	金額	摘要	要
短期債権諸口	71,074	未収入金他	
計	71,074		

力 仮 払 金

(単位 千円)

項 目	金 額	摘 要
仮 払 金 諸 口 計	60,041 60,041	出張旅費未精残他

ヨ 不 渡 手 形

(単位 千円)

項 目	金 額	摘 要
永 和 商 事 (株) 計	5,450 5,450	

(2) 固定資産明細

イ 建設仮勘定

(単位 千円)

件 名	事 業 所 别	金 額	摘 要
旭 川 工 場	新聞用紙工場新設工事	3,397,123	
勇 払 工 場	造林苗畑費他	90,778	
小 松 島 工 場	一般建設工事	12,470	
中 松 玉 研 究 所	工場用水管布設工事他	843,719	
中央 研究 所 計	ポリスチレンペーパー工場新設工事	98,519	
	試験研究用機器	11,153	
		4,453,762	

ロ 長期貸付金

(単位 千円)

項 目	金 額	摘 要
小 松 島 市 役 所 口	66,043	
諸 計	25,478 91,521	

ハ 役員、従業員に対する長期貸付金

(単位 千円)

項 目	金 額	摘 要
住 奨 資	48,971	
宅 学 資	42,930	
計	1,064	
	92,965	

ニ 退職給与引当特定資産

(単位 千円)

項 目	金 額	摘 要
銀 行 預 金	34,600	(株)日本興業銀行定期預金
貸 生 命 保 険	20,000	安田信託銀行(株)他
計	72,814	安田生命保険(相互)他
	127,414	

ホ その他の投資

(単位 千円)

項 目	金 額	摘 要
銀 行 預 金	127,526	安田信託銀行(株)金銭信託他
事 諸 業 者 保 険	30,139	安田生命保険(相互)生命保険料他
計	18,755	賃借敷金他
	176,420	

(3) 繰延勘定明細

(単位 千円)

項目	金額	摘要	要
社債発行差金	87,463		
港湾浚渫工事分担金	15,792	徳島県赤石港	
操縦料	133,472		
新聞用紙開発費	62,329		
計	299,056		

(4) 流動負債明細

イ 支 払 手 形

(単位 千円)

支 払 先	金 额	摘要	要
曹達商事(株)他	301,931	薬燃品	費
住友石炭鉱業	351,023	料	費
日本金網	181,197	貯藏品	費
清水建設	736,855	設備	費
口	103,757	販売	費
計	1,674,763		他

注 支払手形の期日は、90日乃至120日で、大部分90日である。

支払手形の期日別内訳は次の通り。

(単位 千円)

期 日	4 月	5 月	6 月	7 月	計
金額	505,405	470,465	426,389	272,504	1,674,763

ロ 買 掛 金

(単位 千円)

仕 入 先	金 额	摘要	要
曹達商事(株)他	69,870	薬燃品	費
住友石炭鉱業	87,836	料	費
口	41,419	貯藏品	費
計	199,125		他

ハ 関係会社買掛金

(単位 千円)

関係会社名	金額	摘要	要
日比谷商事(株)	2,544	薬品	費
(株)丸國	3,231	当板製	費
国策木部	311,749	原木品	費
機硫	3,159	薬品	費
口	3,401		
計	324,084		

二 短期借入金

(単位 千円)

借入先	金額	摘要			要
		利 率	最最終返済期日	使途その他	
(株)富士銀行日比谷支店	554,000	日歩2.05銭	37.5.31	短期運転資金	
北海道拓殖銀行東京支店	95,000	△	△	△	
三和銀行室町支店	197,000	△	△	△	
住友銀行有楽町支店	50,000	△	△	△	
協和銀行日比谷支店	53,000	2.10銭	△	△	
三菱銀行△	45,000	2.05銭	△	△	
常陽銀行東京支店	45,000	2.10銭	△	△	
静岡銀行銀座支店	45,000	△	△	△	
足利銀行東京支店	40,000	2.15銭	△	△	

借入先	金額	摘要		
		利率	最終返済期日	使途その他
(株) 四国銀行	150,000	2.40 銭	37. 5.31	短期運転資金
「 阿波商業銀行	150,000	「	「	「
「 北海道拓殖銀行旭川支店	150,000	2.05 銭	37. 4.30	「
「 「 苫小牧支店	50,000	「	「	「
「 北海道銀行旭川支店	120,000	2.10 銭	37. 5.31	「
「 「 苫小牧支店	30,000	「	「	「
日本信託銀行(株)	80,000	2.20 銭	「	「
安田信託銀行	12,000	2.05 銭	「	「
農林中央金庫	480,000	2.30 銭	37. 5.29	「
安田生命保険(相互)	50,000	2.70 銭	37. 6.20	「
諸口	20,000		37. 7.31	「
計	2,416,000			

ホ 未 払 金

(単位 千円)

項目	金額	摘要
長網抄紙機他	1,662,839	三菱商事(株)
自家発電設備	257,120	(株) 日立製作所
抄紙室ポンプ	98,184	(株) 荘原製作所
長網抄紙機用電気設備	83,411	東京芝浦電気(株)
コンテニアスグラインダー	76,139	丸紅飯田(株)
新聞用紙工場建物工事	63,419	清水建設(株)
諸口	71,257	石川島播磨重工業(株)他
計	2,312,369	

ヘ 未 払 費 用

(単位 千円)

項目	金額	摘要
経費	174,445	電力料, 物品税, 製品運賃他
借入金利	131,253	
諸口	60,392	
計	366,090	

ト 前 受 金

(単位 千円)

項目	金額	摘要
製品売上代金前受	17,000	
計	17,000	

チ 預 り 金

(単位 千円)

項目	金額	摘要
一時預り金	12,589	源泉所得税他
計	12,589	

リ 役員, 従業員からの預り金

(単位 千円)

項目	金額	摘要
従業員貯蓄組合会	425,347	
「 共済会	3,465	
計	428,812	

ヌ 引 当 金

(単位 千円)

項 目	金 額	摘	要
納 税 引 当 金 計	72,791 72,791		

ル 関係会社短期債務

(単位 千円)

関 係 会 社 名	金 額	摘	要
日 千 北 海 (株) 代 丸 国	29,945 7,979 5,038 7,460	支 払 手 形 他	
比 谷 紙 木 硫 本	22,988 12,393 9,561 4,863	貯 材 作 手 形 他	費
代 田 林 黄 林 口	100,227	造 林	費
計			

ヲ 仮 受 金

(単位 千円)

項 目	金 額	摘	要
仮 受 金 計	1,727 1,727		

(5) 固定負債明細

イ 退職給与引当金

(単位 千円)

項 目	金 額	摘	要
退 職 給 与 引 当 金 計	288,061 288,061		

ロ 関係会社固定債務

(単位 千円)

関 係 会 社 名	金 額	摘	要
千 日 代 比 田 谷 紙 商 業 事 (株) 計	42,741 10,008 52,749	販 売 契 約 信 認 金 貸 室 保 証 金	

ハ その他の固定負債

(単位 千円)

項 目	金 額	摘	要
旭 川 市 紙 業 (株) 住 友 銀 行 他	84,667 30,566 26,885 142,118	共 同 住 宅 建 設 融 資 金 販 売 契 約 信 認 金 貸 室 保 証 金	
東 邦 (株) 計			

(3) そ の 他

(1) 昭和36年下期(36/10~37/3)資金実績表

(単位 千円)

項 目	36/10月	11 月	12 月	37/1月	2 月	3 月	計
収 入 の 部							
営 業 収 入	954,630	991,466	1,104,903	860,140	943,563	1,173,460	6,028,162
借 入 金 債	580,000	565,000	525,000	295,000	485,000	733,000	3,183,000
そ の 他 収 入	—	—	200,000	—	—	—	200,000
収 入 合 計	118,136	57,451	34,778	131,957	143,386	136,053	621,761
	1,652,766	1,613,917	1,864,681	1,287,097	1,571,949	2,042,513	10,032,923

項目	36/10月	11月	12月	37/1月	2月	3月	計
支出の部							
材 料 費	720,473	683,510	446,604	711,601	569,745	564,608	3,696,541
勞 務 費	88,696	88,929	235,334	107,302	88,225	83,884	692,370
經 本 費	43,169	40,771	98,200	50,390	51,442	37,748	321,720
設 借 入 社 費	200,395	257,946	198,468	319,080	248,280	297,199	1,521,368
社 備 費	320,704	256,332	190,739	273,020	242,764	260,080	1,543,639
借 入 金 返 済	382,081	346,430	251,189	283,101	332,593	654,600	2,249,994
社 債 償 還	7,800	3,000	—	6,000	1,800	3,000	21,600
そ の 他 支 出	85,585	158,516	149,898	42,525	37,876	48,169	522,569
支 出 合 計	1,848,903	1,835,434	1,570,432	1,793,019	1,572,725	1,949,288	10,569,801
支 前 月 繰 越	1,690,782	1,494,645	1,273,128	1,567,377	1,061,455	1,060,679	1,690,782
次 月 繰 越	1,494,645	1,273,128	1,567,377	1,061,455	1,060,679	1,153,904	1,153,904

注 期末残高の現金及び預金勘定との差額 127,526 千円は、期限が 1 年をこえる預金で、その他投資勘定へ計上してある。

(2) 昭和 37 年上期 (37/4 ~ 37/9) 資金予算表

(単位 千円)

項目	37/4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
収入の部							
営業収入	1,127,000	1,163,000	1,188,000	1,243,000	1,246,000	1,236,000	7,203,000
借入金債	575,000	620,000	685,000	490,000	440,000	750,000	3,580,000
その他の収入	—	—	—	—	—	200,000	200,000
収入合計	110,000	36,000	59,000	80,000	110,000	65,000	460,000
支 出 の 部	1,832,000	1,819,000	1,932,000	1,813,000	1,796,000	2,251,000	11,443,000
材 労 経 本 設 借 入 金 返 済	625,000	690,000	637,000	715,000	710,000	715,000	4,092,000
務 費 費 費 費 費	93,000	90,000	240,000	110,000	88,000	90,000	711,000
社 備 費	54,000	82,000	73,000	60,000	65,000	60,000	394,000
借 入 金 返 済	274,000	309,000	304,000	305,000	310,000	320,000	1,822,000
社 その他の支 出	242,000	274,000	240,000	250,000	258,000	266,000	1,530,000
借 入 金 返 済	375,000	372,000	329,000	280,000	290,000	532,000	2,178,000
社 その他の支 出	7,800	3,000	6,000	6,000	1,800	3,000	27,600
借 入 金 返 済	95,200	253,000	104,000	47,000	48,200	75,000	622,400
支 出 合 計	1,766,000	2,073,000	1,933,000	1,773,000	1,771,000	2,061,000	11,377,000
支 前 月 繰 越	1,154,000	1,220,000	766,000	765,000	1,005,000	1,030,000	1,154,000
次 月 繰 越	1,220,000	966,000	965,000	1,005,000	1,030,000	1,220,000	1,220,000